

川崎信用金庫理事長賞

こんな自然はいかがですか？

梶ヶ谷小学校 6年生 春田 舞

自分は、キャンプが好きです。そして、そんなキャンプのできる自然のある、この町が大好きです。

自分は、幼稚園の年中の時に、はじめてキャンプに行きました。最初は、虫も草も少し怖かったです。でも、朝日もきれいで、自分の目には、木がまるで宝石のように輝いて映りました。今思えば、町を好きになる一歩だったと思います。

まだ自分が低学年の時の話です。まちたんけんに行きました。テレビででるような有名な場所は、ありません。でも、周りの人や、町のあたたかさに、なぜか、キャンプと同じような言葉にできないような感覚になりました。無理矢理例えると、風呂あがりのさっぱりした感じで、さわやかでした。

「本当に自然が好きなんだな。」

そう思いはじめたのは、3年生くらいの時でした。何回かキャンプに行って、キャンプが好きになりました。そして、3年生くらいの時、ある草原に行きました。自分は、草に飛び込み、ずっとねころんでいました。その時は、ただ単に、気持ちよさそう、気持ちいいなと感じました。でも、自分にとって、そのただ単にがとても思い出に残り、大切な気持ちになりました。

梶ヶ谷、という町も、自然がたくさんあります。梶ヶ谷小学校には、木も大きくたくましく、池もみんなに愛され、花も華麗に咲き誇る、そんな自然があります。この町は、自分のキャンプスタイルにぴったりな町です。

自分は、この町の好きな所がたくさんあります。主に四個あるので、しょう紹介します。

一個目は、まず自然が豊かなところです。梶ヶ谷の自然は、ほどよい自然です。ハワイの海のようにきれいな空。その空に咲く花のような雲も、ほどよいです。都会のように、ビルが多いわけでもなく。田舎のように、草が多いわけでもなく、ほどよく成り立つ自然があります。そんな梶ヶ谷が好きです。

二個目は、自然と共生するところです。自然と共生する人がたくさんいて、漢字の通り、共に生きる、そんな町です。共生するとなにがおこるのか。それは、一個目のほどよい自然を守ることができます。そのため、自分達が、その共生する事を忘れずにいれば、この明るくあたたかい町を守れるのだと思います。

三個目は、散歩道が、自然の音でたくさんなところです。水の音、木の音、風の音、鳥の音、虫の音、たくさんの自然の音がまざりあって、合唱のようになります。散歩していると、きれいな音色のよう。こんな楽器があつたら、きつときれいだな。でも、あつたらあつたで、この自然の特別感がなくなってしまうかな。なんて考え

ながら、自然の音がごほうびのようになっていきました。

そして最後、四個目は、日あたりがいい所です。梶ヶ谷の町には、さわやかな風と、あたたかい日の光、豊かな自然があります。日あたりが良く、きもちのいい朝をすごすことができ、キャンプの朝日と似ている感じがしました。

自分は、自然が好きなわけではなかったけど、キャンプの自然と町の自然の良さについて分かり、好きになりました。キャンプは特別感はあるけど、どこか、この町とつながっているようだなと思いました。この豊かな自然を守っていきたいです。